

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹市議会 だより



令和8(2026)年5月1日 vol.259

CONTENTS

vol.259の主な内容

- P.2~4... 代表質問
- P.5 個人質問
- P.6~7... 議案審査
- P.7 議決結果
- P.8 人事

委員会の視察報告
市議会からのお知らせ
会議の予定

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。
(通信費は利用者負担になります。)



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

初開催!!

伊丹市議会高校生議会

～お気軽にご参加ください～

募集対象 伊丹市内在住または在学の高校生(先着20名)

日程

事前学習会・ワークショップ ①令和8年8月10日(月)午後1時～午後5時
②令和8年8月20日(木)午後1時～午後5時
※どちらかの日程にご参加ください。

高校生議会 令和8年11月23日(月・祝)午後0時50分～午後5時

場所 伊丹市議会本会議場他(伊丹市役所3階)

詳細・お申込みは
こちら

伊丹市議会高校生議会 **検索**




お問い合わせ **伊丹市議会事務局**

☎072-783-1344 ☎072-784-8092
✉shigikai-g@city.itami.lg.jp

代表質問


令和8年第1回定例会(2月16日～3月27日)では、各会派を代表して5人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。


伊丹市議会 **検索** 

市議会ホームページから
3つの方法でご覧いただけます。

- ①会議録検索システム(6月上旬に掲載予定)
- ②インターネット議会中継(ライブ・録画)
- ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

会派別議員一覧 伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

●公明党 代表 永松 敏彦 北原 速男 篠原 光宏 竹村 和人 松浦 晴美 前田伸一郎	●新政会 代表 杉 一 泊 照彦 (議長) 加藤 光博 戸田 龍起 土井 秀勝 花田康次郎	●伊丹維新の会 代表 齊藤 真治 大江ひろと 森 華奈子 鈴木 隆広 原 直輝	●フォーラム伊丹 代表 大津留 求 (監査委員) 保田 憲司 山蘭 有理 岸田真佐人
○創政会 代表 鈴木久美子 (副議長) 川井田清香 新内 善雄	○会派に属さない議員 高塚 伴子 加柴 扶美		

公明党 

永松 敏彦 議員

市長の目指す行財政改革

問 どのような方針で当初予算案を策定し、どのような視点で行財政改革を実行していくのかについて、見解を伺う。

答 自治体経営を取り巻く社会環境や市民ニーズが目まぐるしく変化中、スピード感を持って各政策課題の解決に取り組むとともに、業務の効率化や有利な財源の積極的な活用など、あらゆる手法による財源確保に努めた。その結果、必要な一般財源を

持続可能な統合新病院の実現に向けて

問 市立伊丹病院の令和6年度決算では純損失を計上し、今年度当初予算では、人件費比率が6割を超える水準に達している中、持続可能な統合新病院の実現に向けた見解を伺う。

能な統合新病院の実現が必要不可欠である。そのためには、不足する脳血管疾患や心血管疾患等に対応可能な診療機能を提供することや、診療報酬改定を見極めた、より高度な施設基準を取得することで、入院診療単価を上昇させる必要がある。こうした経営基盤や最新の設備を支え、真に機能させるために最も大切なのは、医療サービスを提供する人財である。職員一人ひとりが命を守るという崇高な理念をもって職務に当たり、患者に対して安全で効果

しっかりと確保するとともに、基金残高や市債残高に留意し、将来の負担に備えたことにより、健全化判断比率等の財政指標は健全な状態を維持していることから、未来に責任を持った積極予算が編成できたと考えている。先行きの不透明な時代を乗り越えてゆくため、財政改革により強固な財政基盤を堅持しつつ、行政改革により市の持つ行政資源を最大限効率的かつ効果的に活用し、安全で豊かな誇りあるまちを伊丹の次の世代へ引き継いでいく。

的な医療サービスを提供し続けること、日々の業務に高いエンゲージメントを持って取り組むことが、病院の信頼と経営の安定を生むと確信している。



統合新病院のイメージ図

新政会 

杉 一 議員

公立幼稚園再編に向けた取組～今後のスケジュール～

問 公立幼稚園の入園者数が定員を大きく下回ることから、幼児教育・保育施設の効率的な適正配置のための再編計画を策定し、速やかに実行すべきだが、今後のスケジュールは。

公立幼稚園における複数学級及び1クラス20人以上という方向性に基づき、幼児期の子どもの発達や学びにおける望ましい教育環境の確保に向けた取組を進めてきたが、近年、入園者数減少のペースが急激に加速している。想定を超える少子化の進行や就労意欲の高まりを背景に、保護者のニーズ等が劇的に変化していることから、市幼児教育の現状を踏まえ、早急に対応を加速させる必要がある。こうした状況の下、今

年度開催予定の学校教育審議会では、今後の幼児教育のあり方及び公立幼稚園の適正規模・適正配置などの審議を想定している。今般の公立幼稚園において3歳児クラスで応募者がなかった園がある状況を真摯に受け止め、望ましい教育環境の確保に向けて適宜適切に対応する。



教育・保育の様子

答 市教育委員会は、平成26年の学校教育審議会答申で示された

ホテル誘致～現状と今年度の取組～

問 伊丹空港を訪れる方による伊丹への経済効果の面で、ホテルの存在は不可欠である。伊丹へのホテル誘致に関する現在の状況と、今年度の取組を伺う。

答 大阪都心部では、IRの開業に向けて高級ホテルの開業が相次ぐと報道されており、今後もホテルの需要は堅調であると認識している一方、訪日外客数推計では、本年1月に大阪を訪れた訪日外国人数が推計で前年同月比5%減となっている。ホテルの存在は地域経済に大きな波及効果をもた

らすものと考えているが、関西のホテルを取り巻く環境は今もなお不透明なものと推測しており、現時点で新たなホテル誘致に関する具体的な予定はない。今後も、まちの活性化や商業振興の観点から、社会経済情勢の変化や民間事業者の動向などを踏まえ、引き続き宿泊施設の誘致の情報収集に努める。

伊丹維新の会 

大江 ひろと 議員

将来世代へ過度な負担を残さない予算編成

問 今後、景気動向や社会情勢の変化により税収が減少する局面も想定されるが、①現在の施策水準を安定的に維持できる財政構造となっているのか、②恒常的な施策を支える安定財源の確保について、見解を伺う。

答 ①市は、財政の健全性を確保しているが、仮に、市税収入に急激な減少が生じた場合には、地方財政制度において、地方交付税等により所要額が措置される。それでも財源不足が発生する場合には財政調整基金を活用するため、不測の事態にも柔軟に対応できるよう同基金残高を一定水準に保っている。今後も安定的に施策を実

想定を超える豪雨による浸水対策

問 想定を超える豪雨で浸水が生じた場合に、被害を最小限に抑えるための対策を伺う。

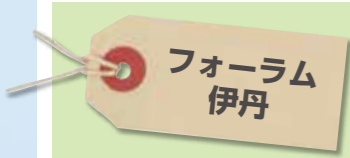
留量1,500m³の雨水貯留施設を整備し、瑞ヶ丘雨水調整池の貯留量を2,500m³から5,000m³に拡張し、かんがい用ため池でもある昆陽池に雨水を貯留すべく雨水流入施設を整備した。併せて内水氾濫により浸水が想定される区域を示す市内水ハザードマップを作成し、浸水予測範囲を事前に周知するなど防災・減災意識の向上に努めてきた。浸水対策は、生活の安全を確保するために

施するため、行財政プランに沿った取組を行うとともに、行財政改革に継続して取り組むことで、持続可能な財政基盤を構築する。②歳入の根幹は市税収入であることから、市独自施策を安定的に実施するためには、徴収体制の強化に取り組み、市税収入を確保することが重要となる。その上で、恒常的施策の実施に当たっては、有利な財源を活用できるよう、国や県の補助制度等の研究、ネーミングライツの導入や戦略的な資金運用、積極的な寄附金獲得など、稼ぐ市役所として行政資源を最大限に活用して財源を確保する。

重要であり、各関係機関と連携を図る中で計画的に実施する。



市内水ハザードマップ



山内 有里 議員



部活動地域展開における子どもの安全確保

問 部活動の地域展開を進める上で、令和6年の市内ミニバスケットボールクラブ指導者による強制わいせつ事件への判決に対する市長の見解と、再発防止に向けた制度整備は。

答 本件は、指導者という立場や子どもの向上心を悪用し、その尊厳を深く傷つけた極めて卑劣で悪質

な事案である。報道によると、判決理由においても、指導を装い、発覚を免れようとしたことが指摘されており、子どもたちの純粋な気持ちを裏切る行為に対し、市長として強い憤りを感じるとともに、本判決を厳粛に受け止めている。市は、子どもたちが安全に参加できる地域クラブ活動の環境を整える立場として、1つ目に、市策定のガイドラインに適合していることを確認できた団体のみを登録地域クラブとして登録する登録制度、2つ目に、登録地域ク

ラブの指導者に対して、暴力・暴言・ハラスメント・虐待等防止に係る研修を継続的に実施する指導者研修制度、3つ目に、相談窓口の設置を通じて子どもや保護者からの相談を受け付けるとともに、学校・関係機関と連携し、迅速な現場の状況把握を実施する相談体制など、安全確保に係る必要な制度の整備に取り組む。



地域クラブ活動に係るガイドライン

演劇ホール跡の利活用～今後の方針～

問 演劇ホール跡利活用事業公募型プロポーザルで、応募者がなかったことに対する見解と、事業者が決定するまでの施設の管理方針を伺う。

答 これまでのサウンディング型市場調査において複数の事業者が関心を示していたため、市は、一定の期待感を持って公募型プロポーザルの手続きを進めてきたが、結果として応募者がおらず、施設の特性が想定以上に事業者の参入を阻む要因と判明した。

今後、事業者応募の条件についてさらなる検討を行い、できる限り早期に活用方策を決定できるよう努める。なお、新たな用途による活用開始までの施設の取扱いについては、暫定的な利活用の可能性も含め、駅前の好立地という施設価値を生かせるよう検討していく。



鈴木 久美子 議員



市立伊丹病院の入院患者目標

問 市立伊丹病院の今年度予算では赤字構造が続き、どこまで収益構造を改善できるのかが重要であるが、救急搬送応需率や紹介率等の向上

による入院患者数の目標等を伺う。

答 救急搬送応需率は、令和4年度は約59%と低迷していたが、令和6年度は約81%まで上昇し、令和7年度は約85%で推移している。また、令和6年度の地域医療機関からの紹介患

者数は、前年度比468件増の14,712件で、うち約4割に入院治療を提供し、紹介率は91.1%と高い水準を維持している。本年3月の近畿中央病院の診療休止に伴う地域医療に及ぼす影響を最小限に抑えるためにも、4室ある救急初療室の回転率向上を目指し、救急搬送患者を優先した検査・診断体制を構築する。近畿中央病院を利用していた患者をできる限り受け入れ、救急搬送応需率は80%台後半を、紹介率は90%台を維持し、病床利用率80%を目指す。約6億4千万円から6億6千万円で、制度の持続は可能と見込んでいることから、発行手数料の徴収や受益者負担の導入は現時点では検討していない。



市バス特別乗車証

市バス特別乗車証事業～負担金見直しと持続可能性～

問 平成18年度以降、年間5億9,700万円の定額だった市バス特別乗車証事業の市負担金は、今年度から乗車実績に応じた変動制となるが、市負担金の算出根拠と、発行手数料の徴収や受益者負担の導入への見解は。

計乗車人数と、いたみバスナビで得られた令和7年4月から10月までの推計乗車人数に、令和6年度から7年度の伸び率を乗じた人数を合計し、1年間の増量した人数を推計している。その後、高齢者と障がい者を特別乗車証の交付割合で按分し、高齢者は通常の乗車料金230円、障がい者は割引料金の120円をそれぞれ乗じて算出している。また、今年度の乗車料金改定を加味した上で、令和17年度までの10年間の乗車人数の推計に基づく負担推計額は、

答 今年度当初予算の市負担金は、令和6年11月から3月までの推

個人質問

代表質問のほか、17人の議員が個人質問を行いました。

ここでは、質問の項目のみを紹介します。

代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



齊藤 真治 議員

●市内の就学前教育 ● 中心市街地活性化 ● 子どもの習い事応援事業

森 華奈子 議員

●市長退職金への成果報酬制度導入および職員体制強化 ● 災害時における要支援者の安否確認および支援体制

鈴木 隆広 議員

●子どもの教育における環境作り ● 「旧フジコー伊丹工場跡地」等の開発

原 直輝 議員

●消防団の持続可能な運営と地域防災力の強化 ● 放課後の居場所と児童くらすぶの運営



保田 憲司 議員

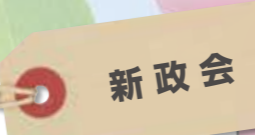
●不在者投票指定施設における投票管理 ● 窓口・電話の受付時間および開庁時間の変更 ● 職員の働き方

大津留 求 議員

●成果報酬型市長退職金の評価制度創設 ● 訪問型歩行・生活訓練事業 ● 就学前施設での障害児保育(通称:にじいろ保育)

岸田真佐人 議員

●学校施設環境の改善状況 ● 小中学校における教職員間の通信手段 ● 荒牧運動広場の今後 ● カラフルな教育



泊 照彦 議員

●駄六川の浚渫を国の起債事業を利用し県事業として依頼できないか ● 中学生の1割が罹患するという起立性調節障害の理解度と支援 ● 現代葬儀の実態と市民保護

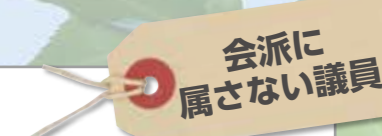
土井 秀勝 議員

●ブランド戦略におけるCMO補佐官 ● 森林環境譲与税の活用と市内の樹林地・緑地の維持、更新



新内 善雄 議員

●物価高騰に直面する市民生活支援対策 ● 標準準拠システムの移行状況等 ● 公園におけるボール遊びのルールづくり



高塚 伴子 議員

●障害者差別解消法 ● 市の広報

加柴 扶美 議員

●市立伊丹病院と地域医療機関との連携強化、病床稼働率向上に向けた地域医療連携室の役割 ● 国民健康保険制度の保険料率統一による影響と課題 ● 食育についての取り組みと今後の課題

議案審査

令和8年第1回定例会では、**修正案**を含めて**議案は51件**でした。

ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された4つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横に**A**～**H**とあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

総務政策常任委員会

○令和7年度 一般会計補正予算

25億7,030万4千円を追加補正

国の「強い経済を実現する総合経済対策」に基づく補正予算を活用し、市民や子どもたちの安全・安心に資する事業等が行われます。主なものとして、小・中学校の大規模改造工事や、太陽光発電設備の整備、照明器具のLED化工事のほか、公園施設の遊具改修等、さらには、災害時や、地域クラブ活動において活用が期待できる、中学校グラウンドの照明設備整備工事が行われます。

その他の議案

- 令和7年度 鴻池財産区特別会計補正予算
- 令和7年度 荒牧財産区特別会計補正予算
- 令和7年度 新田中野財産区特別会計補正予算
- 火災予防条例の一部改正

文教福祉常任委員会

- 令和7年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和7年度 介護保険事業特別会計補正予算
- 支払督促の訴訟への移行による訴えの提起

都市企業常任委員会

- 令和7年度 病院事業会計補正予算
- 令和7年度 水道事業会計補正予算
- 令和7年度 下水道事業会計補正予算
- 令和7年度 交通事業会計補正予算

予算等審査特別委員会

○令和8年度 一般会計予算 **A**

一般会計予算額は957億円

令和8年度一般会計予算は957億円で、前年度比30億円増(3.2%増)となっています。

歳入においては、市税が給与所得の増加による個人市民税の増加や、家屋の新築による固定資産税等の増加等により6億9千万円増、地方交付税が物価高騰、給与改定等による財政需要の反映や、臨時財政対策債償還基金費の創設等により6億5千万円増、県支出金が小学校給食費負担軽減に伴う交付金の増加や、児童生徒用タブレット整備完了に伴う補助の減少により1億3千万円増となります。

歳出においては、扶助費が賃金・物価の上昇に伴う保育所保育委託料等の増加や、障害福祉サービス費等の増加により8億4千万円増、補助費等が学校給食の完全無償化や、子どもの習い事応援事業の開始等により2億7千万円増、公債費が財政負担の軽減を図るための特例債の繰上償還実施により14億1千万円増となります。

令和8年度予算は、「次世代への投資」、「安全・安心なまちづくり」、「ブランド・魅力の発信」が重点施策に位置づけられるとともに、「誇りあるまちを、次の世代へずっと住みたい伊丹を創る、未来への戦略的投資」を目指されます。

◆重点施策

・次世代への投資

多様な体験や学びの機会を創出・確保するため、子どもの習い事応援事業が開始されます。また、小学校給食費を完全無償化し、小学校から中学校まで全学年の給食費が無償化されます。さらに、全中学校の屋外運動施設の照明設備を整備する等、中学校部活動の地域展開が推進されます。

・安全・安心なまちづくり

令和9年度中の統合新病院の開院に向けて、統合新病院整備事業が推進されます。

・ブランド・魅力の発信

誰もが住み続けたいまちを目指して、ブランド戦略が策定されます。また、まちの未来をデザインし、職員の広報力を高める専門人材をCMO補佐官として登用されます。

※CMO補佐官…Chief Marketing Officer(最高マーケティング責任者)の略称

その他の議案

- 令和8年度 一般会計予算に対する修正案 **B**
- 令和8年度 国民健康保険事業特別会計予算 **C**
- 令和8年度 後期高齢者医療事業特別会計予算 **D**
- 令和8年度 介護保険事業特別会計予算
- 令和8年度 介護保険事業特別会計予算に対する修正案 **E**
- 令和8年度 鴻池財産区特別会計予算
- 令和8年度 荒牧財産区特別会計予算
- 令和8年度 新田中野財産区特別会計予算
- 令和8年度 病院事業会計予算
- 令和8年度 水道事業会計予算
- 令和8年度 工業用水道事業会計予算
- 令和8年度 下水道事業会計予算 **F**
- 令和8年度 交通事業会計予算
- 令和8年度 モーターボート競走事業会計予算
- 公告式条例の一部改正
- 事務分掌条例の一部改正
- 職員定数条例の一部改正
- 特別職報酬等審議会条例の一部改正
- 一般職の職員の給与に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 国民健康保険税条例の一部改正 **G**
- 手数料条例の一部改正
- 印鑑条例の一部改正
- 福祉医療費の助成に関する条例及び子育て支援のための医療費の助成に関する条例の一部改正
- 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 **H**
- 国民健康保険条例の一部改正
- 介護保険条例の一部改正
- 体育施設条例の一部改正
- 病院事業の設置等に関する条例の一部改正
- 水道事業給水条例及び下水道条例の一部改正
- みなみ交流センターの指定管理者の指定
- 財産の無償譲渡

委員会付託なし

- 固定資産評価審査委員会委員の選任(3件)
- 公平委員会委員の選任
- 教育委員会委員の任命
- 議会会議規則の一部改正

修正案が提出されました

3月24日の予算等審査特別委員会及び3月27日の本会議において、令和8年度一般会計予算及び介護保険事業特別会計予算の両議案のうち、「介護度改善インセンティブ事業に係る予算」を削除する修正案が提出されました。

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。



議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。

第1回定例会の**議案51件**のうち**49件**は**可決・承認**されましたが、**修正案2件**は**否決**されました。

可決承認 議案報告 **48件** **1件** **否決** 修正案 **2件**

賛否の分かれた議案

- A** 令和8年度 一般会計予算
- B** 令和8年度 一般会計予算に対する修正案
- C** 令和8年度 国民健康保険事業特別会計予算
- D** 令和8年度 後期高齢者医療事業特別会計予算
- E** 令和8年度 介護保険事業特別会計予算に対する修正案
- F** 令和8年度 下水道事業会計予算
- G** 国民健康保険税条例の一部改正
- H** 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

会派名 議員名	A	B	C	D	E	F	G	H
公明党	可決	否決	可決	可決	否決	可決	可決	可決
北原 速男	○	×	○	○	×	○	○	○
篠原 光宏	○	×	○	○	×	○	○	○
竹村 和人	○	×	○	○	×	○	○	○
永松 敏彦	○	×	○	○	×	○	○	○
松浦 晴美	○	×	○	○	×	○	○	○
前田伸一郎	○	×	○	○	×	○	○	○

新政会	A	B	C	D	E	F	G	H
泊 照彦	○	×	○	○	×	○	○	○
加藤 光博(議長)	—	—	—	—	—	—	—	—
杉 一	○	×	○	○	×	○	○	○
戸田 龍起	○	×	○	○	×	○	○	○
土井 秀勝	○	×	○	○	×	○	○	○
花田康次郎	○	×	○	○	×	○	○	○

伊丹維新の会	A	B	C	D	E	F	G	H
齊藤 真治	○	×	○	○	×	○	○	○
大江ひろと	○	×	○	○	×	○	○	○
森 華奈子	○	×	○	○	×	○	○	○
鈴木 隆広	○	×	○	○	×	○	○	○
原 直輝	○	×	○	○	×	○	○	○

フォーラム伊丹	A	B	C	D	E	F	G	H
保田 憲司(監査委員)	○	○	○	○	○	○	○	○
山藺 有理	○	○	○	○	○	○	○	○
大津留 求	○	○	○	○	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○	○	○	○	○

創政会	A	B	C	D	E	F	G	H
川井田清香(副議長)	○	×	○	○	×	○	○	○
鈴木久美子	○	×	○	○	×	○	○	○
新内 善雄	○	×	○	○	×	○	○	○

会派に属さない議員	A	B	C	D	E	F	G	H
高塚 伴子	○	○	○	○	○	○	○	○
加柴 扶美	×	○	×	×	○	×	×	×

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

人事

3月定例会において、次の方々へ同意しました。(敬称略)

- ▽公平委員会委員 竹田 政幸
- ▽固定資産評価審査委員会委員 五條 操 辻 博夫
- 中川 俊秀
- ▽教育委員会委員 細川 歆子

委員会の視察報告

議会改革検討特別委員会

(1/28) 兵庫県 加西市
「こども議会の取組」
兵庫県 西脇市
「高校生議会の取組」



西脇市

※詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

市議会からのお知らせ

請願・陳情について



市政などについて、市民の皆さまが直接市議会に要望できる制度があります。それが「請願」と「陳情」です。

伊丹市議会では、請願はそれぞれ所管の委員会で審査され、その結果、採択された請願は、市長等に送付して、その実現を要請したり、関係機関に意見書などを提出します。

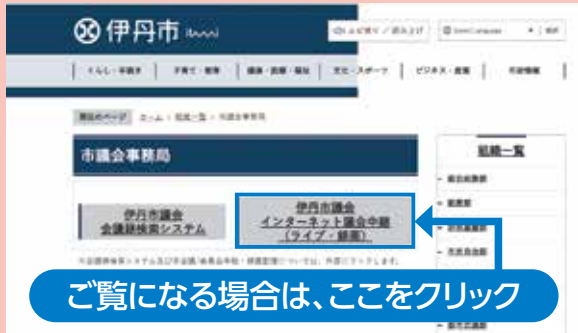
陳情書は、その写しを全議員に配付し、将来の市政運営等の参考としています。

なお、請願書の提出に際しては、1名以上の紹介議員が必要ですが、陳情書の提出には必要ありません。

本会議・委員会での質問及び答弁は、市議会ホームページからご覧いただけます。



※市ホームページのサイト内検索で「市議会事務局」と検索してください。



ご覧になる場合は、ここをクリック

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	6/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 ☎072-780-2897

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

【伊丹市議会だより】編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階)

☎072-780-4090 ☎072-784-8092 📧https://www.city.itami.lg.jp

伊丹市議会だよりは87,000部作成し、印刷費は1部あたり7.56円です。